



秋厚労ニュース

友だちが増えて楽しい

第37回秋厚労 青年部定期大会

11月23日（土）、第37回青年部定期大会が開催され、48人が参加。2019年度の運動方針を決め、新執行部を選出しました。

楽しく意見を言える場づくり



青年部は「集まることも闘い」として、「忙しい毎日の中でも、集まって交流すること」に力を入れていきます。ウィンターフェスタでは、全青年部員にティッシュ付チラシを配り、参加を呼びかけました。スキーなどをしない人も楽しめるよう、温泉巡りも企画。球技大会では「協力員」と力を合わせて、混合チーム

をつくったり、バドミントンの試合数を増やしたり、参加した人みんなが楽しめる大会を目指しました。毎月の部会では、全員が一言ずつ近況を話す「1分間スピーチ」を行い、楽しく意見を言い合える場づくりを心がけています。

ミニ学習会

まずは青年部活動に参加して

大会の冒頭で、青年部長の柿沼さんが、ミニ学習会「労働組合はなぜ大事なの？」を実施。



大会の最後は、新青年部長による「団結ガンバロー」

秋厚労青年部 ウィンターフェスタ

☆青年が1年に1度集まる場☆

2020年

2月8日(土)~9日(日)

太平山スキー場オーパス

& クアドーム ザ・ブーン

宿泊は秋田温泉さとみ

東京都産業労働局によると、労働組合がある企業は、労働組合がない企業より、勤続年数が長く、賃金も高い傾向にあります。

柿沼さんは「労働組合が力を発揮

写真など視覚で伝える工夫も

開会を待つ間、

1年間に撮りためた写真をつなげた「ウエルカムムービー」を上映しました。活動報告に合わせて写真を映し出すなど、視覚で伝える工夫も。大会は和やかな雰

囲気で終わりました。翌日の第1回部会では、主にウィンターフェスタについて話し合いました。「青年が1年に1度集まる場」。

参加したみんなが楽しみ、仲良くなれるように、特に交流会のゲーム決めには熱が入っていました。可愛いチラシも作成中です。